

くまみ

広報

NO.469

平成24年8月
2012.

8



プールに子どもたちの 歓声が戻ってきた!

2年ぶりにプール開きが行われた上野台町民プールでは、夏の日差しの下、多くの子どもたちで賑わっていました。元気に水しぶきをあげ遊ぶ姿はとても気持ちよさそうです。

(23面に関連記事)

◆ 今月のおもな内容 ◆

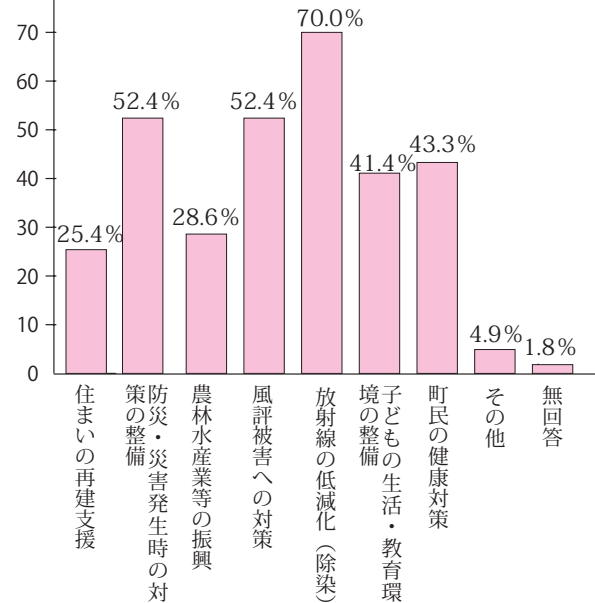
町民意識調査	2
除染がはじまります	4
まちのわだい	14
笑顔のひろば	16
保健だより	18
くらしの情報	20
生涯学習つうしん	22

国見町振興計画と復興計画の目標達成に向けた 町民意識調査

調査の手法

- ◆ 調査対象
国見町内に住む満18歳以上の方2,000人
- ◆ 方法
質問紙による郵送調査（郵送配布・郵送回収）
- ◆ 調査期間
平成24年5月14日～6月1日
- ◆ 回収状況
発送数 2,000票
回収数 1,066票
（有効回収率53・3%）

問 国見町では昨年末に復興計画、除染計画を策定しましたが、今後の復興に向けて、行政にどんなことを期待しますか。

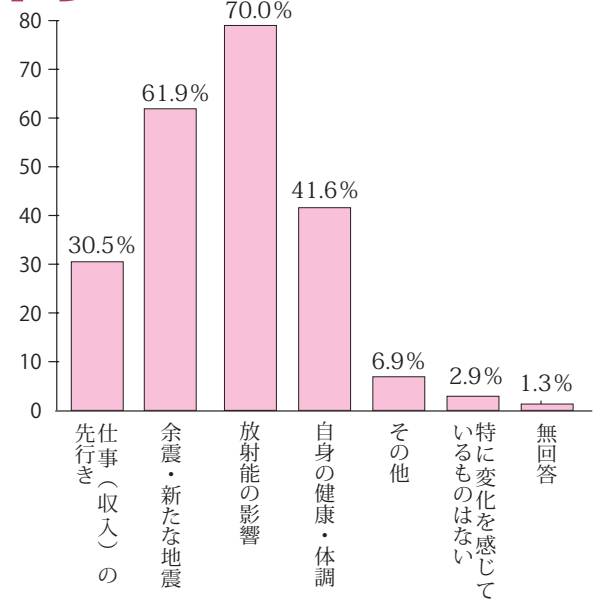


昨年の調査では住まいの再建支援を求める回答が多かったのですが、今年は放射線の低減化を求める意見が多数寄せられています。風評被害など引きつづき原発事故からの対策が求められています。

多くの町民の方々のご協力でたくさんの意見が寄せられました。アンケートにご協力いただいた町民のみなさん、ありがとうございました。

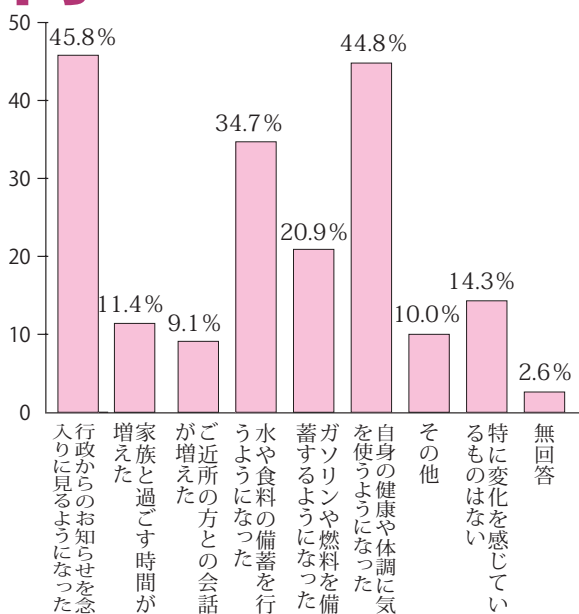
町の復興とまちづくりのために
国見町では、震災からの復興と放射能災害の克服をめざし、まちづくりの指針である「第5次国見町振興計画」のもと各種事業を進めています。そこで、目標達成に向けた各施策の現状や課題を明らかにするために「町民意識調査」を実施しました。調査結果は、計画の進捗や現状を把握するための基礎資料として活用いたします。なお、調査結果の詳細については、国見町ホームページで公開しています。

問 震災から一年余りが経過して、今の暮らしで不安に感じているものはなんですか



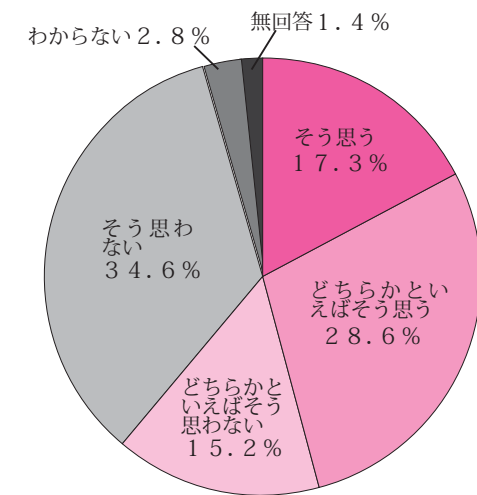
放射能の影響を心配する声が多く寄せられました。さらに、健康や体調を心配する声も寄せられました。

問 震災から一年余りが経過して、あなたの生活に変化はありましたか



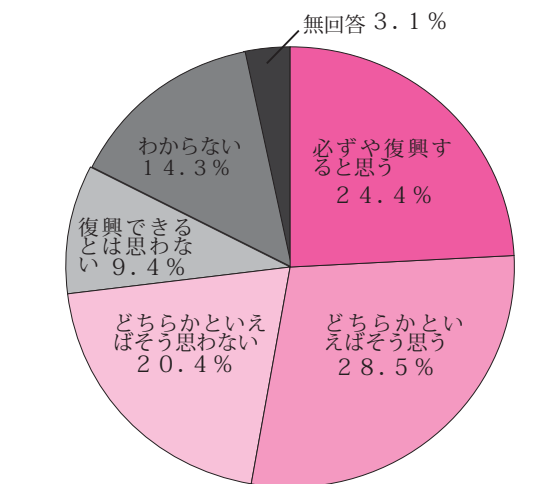
行政からのお知らせを念入りに見る方が増えています。生活に役立つ情報を提供できるよう町では復興情報や広報くみにみで生活に役立つお知らせをして参ります。

問 震災から一年余りが経過しましたが、あなたの生活は震災以前の姿に戻ったと思いますか



震災以前の生活に戻ったと答えた方が合わせて45.9%いる一方、そう思わないと答えた方が49.8%で、まだまだ震災の影響が残っていることがわかります。

問 阪神・淡路大震災では、壊滅的な被害を受けた街が震災から見事な復興を果たしましたが、国見町も同じように復興すると思いますか。



復興すると答えた方は、合わせて52.9%で、過半数の方が国見町の復興に向けて明るい希望を持っています。

主な調査結果

除染がはじまります

昨年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、国見町においても放射性物質が拡散しました。事故直後は4 μ Sv/時を超える空間線量が観測されましたが、その後の物理的な減衰や風雨などの自然要因による減衰により、現在では1〜0.3 μ Sv/時となっております。

しかし、事故以前の平常時(約0.04 μ Sv/時)に比べ高い空間線量率にあり、不安な日常生活を強いられています。この不安を解消するためには、除染により放射性物質を取り除いて行かなければなりません。

昨年からは学校の校庭などの表土除去や、果樹の洗浄・水田の深耕などによる放射性物質の吸収抑制対策など、また、町内会等の活動の中で、放射線量を低減する取り組みが進められてきましたが、今後も積極的に除染に取り組むこととなります。



▲上野台運動公園グラウンドの芝を深刈りする作業

公共施設16カ所を実施

国見町除染実施計画では町内全域を除染実施区域としていますが、実施にあたっては、安全安心の緊急度を考慮して優先順位を定め、除染を進めていくこととなります。

特に、子どもたちの生活空間を優先的に進めるため、今年度は小・中学校、幼稚園、保育所をはじめ、観月台公園や上野台運動公

園、観月台文化センターや地区中央集会所施設など16カ所を実施します。

更に子どもたちの通学路となつている町道約10kmについても、除染を進めます。

なお、除染で発生する除去土壌等は、施設の敷地内に現場保管することになります。



▲上野台運動公園プールの除染作業

住宅除染には仮置場が課題

日常生活の基盤である住宅の除染は、被ばく線量の低減に効果的であるといえます。

計画では、地区毎に数十件単位で区域を設けて、除染作業を進めることとなりますが、多量の除去土壌等が発生するため、それを一時保管する仮置場の確保が不可欠となります。

しかし、これまで仮置場の設置について何度か説明会を開催しましたが、今のところ周辺住民の方の理解を得られるには至っておりません。

この仮置場は国の基準に基づき、設置方法から監視に至るまで厳しい条件が付けられ、付近に影響を及ぼすことが無いように設置することが必要となります。今後の課題である仮置場の設置に向けて、皆様のご理解とご協力をお願いします。



▲小坂地区仮置場設置に向けた地元説明会の様子

実施可能な森林(生活圏)に着手

住宅などに隣接する森林(宅地等との境界より山林側に20mの範囲)についても、除去土壌等の現場保管を前提に除染を実施します。

町内全域では約100haの面積となり、今年度は約50haを予定し、比較的線量の高い泉田地区より順次進める計画です。

放射能物質が付着した枝葉や落葉等堆積物の除去により進めるもので、作業の支障になる下草や雑灌木の刈払いも行います。



放射線について知ろう!! Q&A

Q1: 追加被ばく線量の年間1mSvは1時間あたりに換算するといくらになるか?

A1: 1日の生活パターンで、屋外に8時間、木造の屋内に16時間滞在したことを仮定し、さらに木造家屋の屋内における遮へい効果を0.4倍と考えます。

(計算式)
1年間で放射線を受ける時間
(8時間+0.4×16時間)×365日=5,256時間
1時間当たりの追加被ばく線量をAとすると
⇒A=1,000 μ Sv(1mSv)÷5,256時間
という計算式からA≒0.19 μ Sv/時となります。
ただし、空間線量においては事故による追加被ばく線量に加え、自然界からの放射線が元々0.04 μ Sv/時存在しています。
よって、実際の1時間あたりの追加被ばく線量は
0.19+0.04=0.23 μ Sv/時が年間1mSvにあたります。

Q2: 平成24年4月より定められた一般食品の摂取基準値100Bq/kgについて、365日間食べた場合の人体への影響はどのくらいか?

A2: 放射性物質を体内に取り込んだ場合の人体への影響については、放射性物質の種類毎に、次のように一定の係数を乗じることでシーベルトに換算できます。

- セシウム137⇒100×365日×0.000013(係数)
≒0.474mSv=474 μ Sv
- セシウム134⇒100×365日×0.000019(係数)
≒0.693mSv=693 μ Sv

農作物内放射性物質の測定

農作物内に含まれている放射性物質の測定について、次により行います。1世帯当たり3品目まで測定可能です。ご活用ください。

【受付内容】

- ① 農産物の中に放射性セシウムがどれだけ含まれているかを無料で測定します。
- ② 測定する農産物は食べられる状態で、できるだけ細かくきざみ、450g以上を袋に入れて持参してください。(受け取った検体は返却しません。)
- ③ 測定結果は後日電話でお知らせします。

◇持参する物「測定を希望する農産物」「印鑑」

◆問い合わせ 原発災害対策室 ☎585-2158

一般的な除染の手順

【雨どいの清掃】放射性セシウムを含む落葉、泥等が付着しているため、手作業で堆積物を取り除き、水できれいに流します。

【建物周りの除染】ゴミ等を取り除いた後、デッキブラシ等でこまめに洗浄します。

【駐車場等の除染】アスファルトやコンクリートの表面に放射線セシウムが付着しているため、高圧洗浄機を用いて洗浄します。

【植込花壇】庭の樹木は葉の表面に放射性物質が付着しているため、剪定による刈込みや周辺地表面の落葉等の除去を行うことで放射線量を低減します。

【側溝の除染】放射性セシウムを含む泥等や雨水が流れ込むため、堆積している土砂等を手作業で取り除いた後、高圧洗浄機を用いて洗浄します。

防災行政無線（デジタル同報系）を用いた 全国一斉の緊急情報伝達試験を実施します

平成24年9月12日（水）
10時頃と10時30分頃の2回実施します



▲役場仮庁舎に設置している全国瞬時警報システム（J-Alert）と防災行政無線



国見町では、全国瞬時警報システム（J-Alert）（※）から送られてくる国からの緊急情報を、防災行政無線（デジタル同報系）を用いて確実に皆様へお伝えするため、緊急情報伝達の試験を行います。

国見町以外の地域でも、全国的に様々な情報伝達手段で試験が実施されます。

国見町が当日実施する試験は次のとおりです。

各世帯に設置している戸別受信機及び町内5か所に設置している屋外拡声子局（各地区中央集会所に設置しているスピーカー）から、次の放送内容が一斉に放送されます。

（全国瞬時警報システム（J-Alert）から送られてくる国からの緊急情報については、音量を「最小」に設定しても最大音量での放送となります）

【放送内容】

「これは、試験放送です」
×3回

「こちらは、ぼうさいく
にみこうほうです」

＋

防災行政無線チャイム



▲各世帯に設置している戸別受信機



▲町内5か所に設置している屋外拡声子局（スピーカー）

（※）J-Alert（ジェイ・アラート）とは、人工衛星などを活用して、地震・津波などの災害時や海外からの武力攻撃などの時に国から送られてくる緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

【問い合わせ】
住民生活課住民防災係
585-2116

平成25年4月 くにみ幼稚園 開園に向けて

園舎の改修工事が始まりました

町では、平成25年4月に現在の町内2つの幼稚園を統合し、新たに「くにみ幼稚園」として開園する準備を進めています。これに伴い、旧森江野小学校を新しい幼稚園として利用するため、国の学校施設環境改善交付金を活用し、改修工事を実施します。

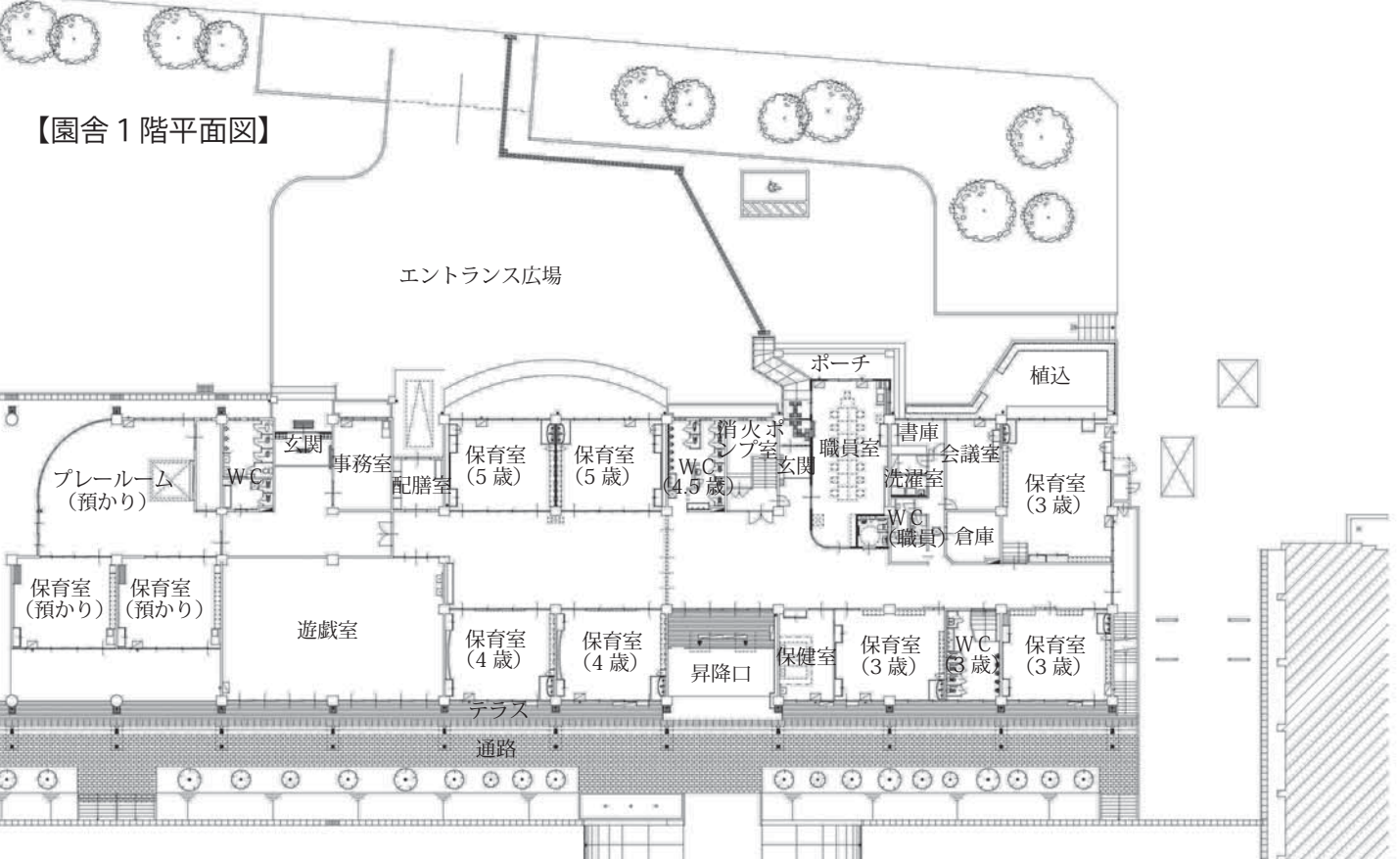
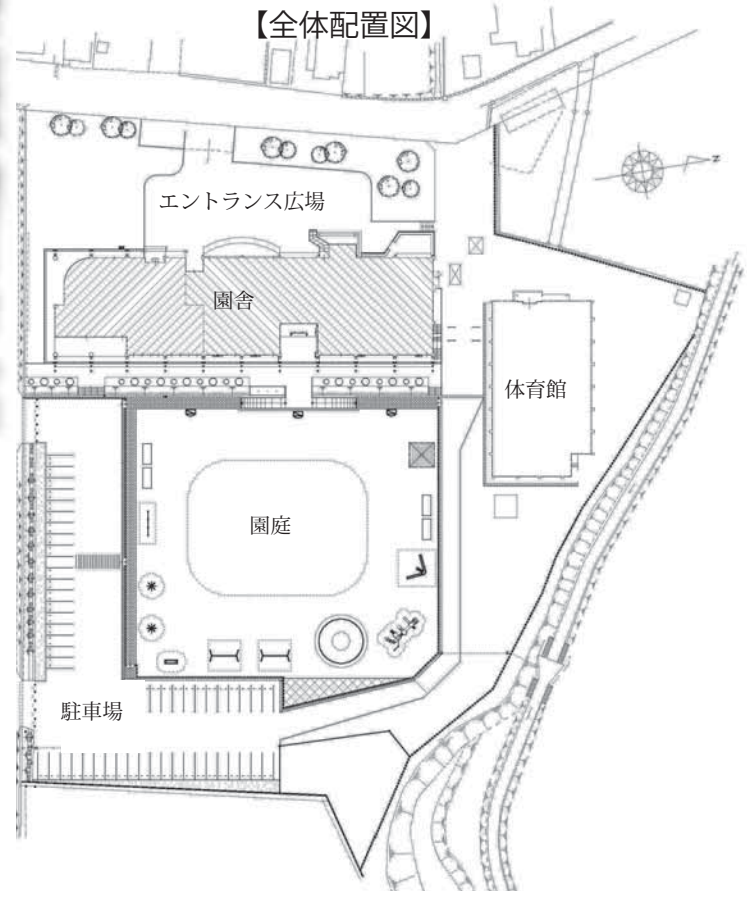
工事中はご不便ご迷惑をおかけする場合がありますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【工事概要】

- ◆工期 平成24年6月26日から平成25年1月31日まで
- ◆請負業者 株式会社 渡辺建設
- ◆問い合わせ 幼児教育課 ☎585-2119



▲「くにみ幼稚園」へ改修工事中の旧森江野小学校



町の最強チーム結成！めざせ上位進出！

～第6回市町村対抗軟式野球大会～



福島県内各市町村の交流と軟式野球の普及、ふるさとおこしを目的とした「第6回市町村対抗軟式野球大会」が、9月8日(土)に開幕し、福島市の県営あづま球場で熱戦が繰り広げられます。

国見町チームは、町内の6つの野球チームなどから選抜された選手に、ふるさと選手を加えた28人の国見町最強メンバーで上位進出を目指します。

町民の皆さん、応援よろしくお祈りします。

＜大会日程＞

国見町の初戦は
9月16日(日) 午前11時30分
福島市 県営あづま球場
対戦相手 柳津町

【2回戦】(1回戦に勝った場合)
9月30日(日) 午後4時45分
福島市 県営あづま球場
対戦相手 伊達市 vs 鏡石町の勝者

※雨天等により順延となる場合があります。



練習の様子

大会に向けて 佐久間監督に聞く！

今回で第6回の市町村対抗軟式野球大会出場にあたり、これまでの大会を通しての結果や経験を生かすために、更なるチームのレベルアップを目標に掲げ練習に励んでいます。

国見町代表としての意識を常に持ちながら大会へ臨み、一つでも多く勝ち上位



国見町チーム監督
佐久間 裕明 さん

進出を目指して全力で戦ってきますので、町民の皆様のご声援をよろしくお祈りいたします。

～国見町事務職員派遣終了～

ありがとうございました

派遣職員として、町の復興のためにご尽力いただいた真壁賢治さん、二本木優さんが6月30日、退職辞令の交付を受け任期を終えました。

みなさんへ、お2人よりメッセージをいただきましたのでご紹介します。

国見町事務職員派遣を終えて
大阪府吹田市 真壁 賢治

昨年9月から6月末まで上下水道課で下水道の復旧に携わせていただきました。

当初、見知らぬ地での仕事に不安でいっぱいでしたが、職員の皆さんをはじめ町の方々に温かく迎え入れていただき、業務をスムーズに進めることができました。

少しずつ町が元の姿に戻っていく様子を見て嬉しさを感じる反面、短期間での解決が難しい深刻な問題を抱えている現状に、大きな憂いを感じています。

今後、沢山の人が福島にそして国見町に足を運んでもらえるよう、福島をしっかりと宣伝し、身をもって体験した食べ物の美味しさ、景色の美しさなど良い所をみんなに伝えていきたいと思っています。

10ヶ月間、本当にお世話になりました、ありがとうございました。



▲派遣終了の辞令交付を受ける真壁さん(写真右)と二本木さん(写真左)

国見町事務職員派遣を終えて
福岡県筑後市 二本木 優

国見町での任期を終えて、僅か三ヶ月の国見町職員としての立場を振り返ると、もっとやれる事が有ったのでは?!という想いと共に、町民・職員の方々に大変お世話になり感謝の念を覚えます。

復旧復興及び風評被害の払拭など、町民の方々が大地震以前の生活を取り戻す事は険しい道のりと思いますが、筑後市より応援しています。

3ヶ月間ありがとうございました。

復興への支援



まちの復興のために

国見町で活躍する全国の自治体からの応援職員を紹介します。

福岡県筑後市
建設部 上下水道課
主幹 田中 良彦 さん

テレビ等の報道では、福島の内陸地方の情報は少なく、国見町の被害状況を見て内陸地方でも大きな被害があった事を知りました。

震災から1年以上経過し、みなさんの努力により徐々に元の生活へ戻りつつあると思いますが、国見町の復興のために、短期間ではありますが少しでもお手伝いしたいと思います。

復興に向け激励に訪問

北海道ニセコ町長来町



北海道ニセコ町の片山健也町長(写真中央)が6月27日、国見町役場を訪れ、震災からの復興に向け職員に激励のことばを述べました。

当町とニセコ町は以前より職員間の交流があることから、今回の来町が実現しました。

代表	太田久雄	監督兼選手	佐久間裕明	コーチ兼選手	高橋裕毅	主将兼選手	安藤雅規	投手	遠藤哲	佐藤大介	捕手	佐藤幸教	佐藤幸輝	内野手	佐藤裕行	菅野政人	川名敦	菊地智幸	斎藤正	外野手	戸田良樹	赤坂和則	佐藤哲也
					古山和也				佐藤大介	太田達則	齋藤奨	紺野秀幸		鈴木康雅	原田武重	内村忠	徳江勇二	菅野佑二		八島隆記	松浦昭太		

交通事故防止のために！

夏の交通事故防止直民総ぐるみ運動

7月16日(月)から25日(水)までの10日間「夏の交通事故防止直民総ぐるみ運動」が行われ、「車にも乗せようマナー」と「思いやり」のスローガンのもと、交通事故の防止を図る様々な事業が展開されました。

みやぎ・ふくしま県境キャンペーン

宮城県白石市と国見・桑折地区合同の交通事故防止みやぎ・ふくしま県境キャンペーンが7月25日、白石市斎川パーキングで行われました。



▲くにみもたんもPRに活躍中

キャンペーンには、佐藤力町長、熊谷孔隆桑折町副町長、風間康静白石市長をはじめ、警察関係者、管内の交通安全団体関係者約150人が参加しました。

また、国見・桑折地区から「くにみもたん」、「ホタビー」のゆるキャラやミスピーチ、白石地区から甲冑工房片倉塾の甲冑武者が参加し、キャンペーンに花を添えました。

参加者は、通行車両1台1台のドライバーに、交通事故防止チラシと地域特産「桃」や「うーめん」を配りながら、安全運転を呼びかけました。

高齢者事故防止キャンペーン

高齢者等への交通事故防止街頭啓発活動が7月20日、公立藤田総合病院前で行われました。

来院者へチラシやティッシュなどを配り、交通安全を呼びかけました。



JRE設計に基本設計を委託 プロポーザル審査会開催

東日本大震災によって被災した庁舎を新庁舎に建て替えるため、昨年12月に策定した庁舎復旧基本構想に基づき、公募型プロポーザルによる審査を進めてきました。

7月24日に開催された第2次審査会において、株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所を代表企業枠の最優秀者と決定しました。

その後、地元企業枠である株式会社田畑建築設計事務所とのJV協定書の提出を受け、共同企業体として今後の基本設計業務が行われることとなりました。

なお、新庁舎の建設にあたっては国が全額を震災復興特別交付税と起債により措置されることになりました。



▲プロポーザル審査会の様子

新しい庁舎外観のイメージ



第17回国見町義経まつり開催決定

期日 9月23日(日)
会場 上野台運動公園

第17回国見町義経まつり実行委員会が、観月台文化センターで開かれ、これまでどおり9月23日(くにみの日)に、開催致します。

義経まつりホームページでは、フリーマーケットや出店の募集の申込み用紙がダウンロードできますので、参加希望者は奮ってご応募下さい。

【募集期間】8月31日(金)



▲義経まつり実行委員会の様子

今後、詳しい内容が決まり次第、ホームページなどにより皆様へお知らせしていきます。

※本年度も昨年同様、町内の各世帯および各事業所からの協賛金をいただかず実施することが確認されました。

◆問い合わせ

国見町義経まつり実行委員会事務局(国見町役場企画情報課)
☎585-2927

果物盗難被害防止活動を実施します

桃の収穫が最盛期を迎えたことから、果実の盗難被害が心配されます。桑折・国見地区果物盗難被害防止等連絡会では今年も関係団体が連携し、盗難被害などの未然防止対策として園地周辺のパトロールを行います。

生産者のみなさんも、園地巡回や侵入防止対策をとるなど、盗難被害に遭わないよう各自での取り組みをお願いします。



◆問い合わせ

産業振興課産業振興係
☎585-2986

農地パトロール(利用状況調査)を実施します

平成21年12月15日から改正農地法が施行され、「農地について所有権または賃借権その他の使用および収益を目的とする者は、当該農地の農業上の適正かつ効率的な利用を確保するようしなければならない」と、農地の権利を有する方の責務規定が新たに設けられました。今回の改正は、農地減少を食い止め、農地を確保するとともに、農地の貸借を効率的にすることをねらいとしています。

▼農地パトロール(利用状況調査)

国見町農業委員会では、9月～11月を農地パトロール月間として、農地パトロール(利用状況調査)を実施します。この調査は、改正農地法の規定に基づき、農地パトロール(利用状況調査)を、毎年のように、その区域内にある農地の利用の状況について調査を行います。

この期間内、町の農業委員や調査関係者が、調査のため皆様の農地に立ち入ることがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

▼違反転用

農地パトロールでは、違反転用についても調査します。農地法改正に伴い、違反転用に対する処分、罰則が強化され、県知事による行政代執行制度も創設されました。悪質な場合は罰則適用も踏まえ、県などと連携し、指導しなければなりませんと定められました。

▼耕作放棄が与える影響

農地は一度耕作をやめて数年経てば、原形を失うほどに荒れてしまいます。耕作放棄地は、農地集積に支障をきたすだけでなく、周辺農地の病害虫発生を助長し、有害鳥獣の隠れ場所になるなど農業振興に悪影響を及ぼします。また、ゴミの不法投棄、火災発生の原因となるなど生活環境への悪影響も考えられます。

草刈や耕起などにより耕作放棄の解消が可能な農地の所有者は、農地法の規定に基づき、再生し利用するか、いつでも耕作可能な状態にするなど、農地の適正な管理をお願いします。

◆問い合わせ 農業委員会事務局 ☎585-2890

大会での活躍を誓う！

各種大会出場の個人・団体に奨励金・激励金を交付

全日本クラブ女子ソフトボール大会
Shine's 蓬田起代子さん



国見町青少年健全育成町民会議は7月25日、第33回全日本クラブ女子ソフトボール選手権大会へ出場する蓬田起代子さんへ奨励金を贈りました。

今年結成したShine'sのメンバーとして5月下旬に開催された東北クラブ女子ソフトボール大会で見事に準優勝し、全国大会出場が決定しました。

大会へ出場する蓬田さんへ武田正昭教育長から奨励金が交付され、蓬田さんが大会での活躍を誓いました。

全日本少年剣道錬成大会
佑武館



町と町体育協会、国見町青少年健全育成町民会議は7月27日、第47回全日本剣道錬成大会へ出場する佑武館の選手へ奨励金を贈りました。

監督の朝内尚光さんと、団体戦へ出場する佑武館(安倍遙さん、斎藤智博さん、内村駿さん、菊地拓実さん、大津寛己さん、佐藤大斗さん、森大翔さん)5月下旬に開催された福島県少年剣道錬成大会で見事3位入賞を果たし、全国大会へ出場となりました。

県民スポーツ大会県北地域大会
朝日クラブ、国見ST部、国見テニスクラブ、スピリッツ



町と町体育協会は7月4日、県民スポーツ大会県北地域大会出場団体へ佐藤力町長から奨励金を贈りました。

ソフトボール競技は朝日クラブ、ソフトテニス(ST)競技は国見ST、硬式テニス競技は国見テニス部、家庭バレーボール競技はスピリッツの4団体で、選手の皆さんは「自分達の力を十分発揮して優勝目指して頑張ります」と抱負を語り、大会での活躍を誓いました。(23面に関連記事)

県総合体育大会(柔道競技)
国見柔道スポーツ少年団



国見町青少年健全育成町民会議は7月9日、第16回県総合体育大会(柔道競技)の出場者へ奨励金を贈りました。

団体戦に出場する国見柔道スポーツ少年団と個人戦に出場する神田尚紀さん(県北中2年)へ武田正昭教育長から奨励金が交付され、選手を代表して個人戦と団体戦に出場する神田尚紀さんが「みんなの心をつなげて全力で戦ってきます」と大会への決意を述べました。

中尊寺ハスが開花しました



西大枝地内・中尊寺ハス池

国見町では、岩手県平泉とゆかりのある町として平成21年4月に中尊寺からハスの株を譲り受け、奥州藤原氏が築いた歴史遺産である阿津賀志山防塁を望む西大枝字原前道下地内のハス池で栽培しています。中尊寺ハスは和蓮の一種で、9月上旬まで楽しめます。午前中が花の見ごろです。

【中尊寺ハスとは】昭和25年に岩手県平泉町の中尊寺において、金色堂に安置されている奥州藤原氏父子四代の『ご遺体学術調査』が実施されました。その際に四代泰衡公の首級が納められていた首桶から、100粒あまりのハスの種子が発見されました。この中5粒を大賀ハスで有名な大賀一郎博士が、研究資



※阿津賀志山防塁の案内板や青いのぼり旗を目印においでください。

料として持ち帰り、その後大賀博士の門弟長島時子先生(恵泉女学園)の丹精込められた栽培により、その種は平成10年7月に800年の眠りから目を覚まし、一輪の花を開花させました。平安の香りを伝えるこのハスは、全体に小振りな淡紅色の清楚な花影です。

◆お問い合わせ
生涯学習課
585-2676

「ふるさとの祭り2012」 メイン会場観覧者募集(入場無料)

全国の祭りが大結集!日本最大級の地域伝統芸能の祭典「ふるさとの祭り」メイン会場の観覧者を募集します。

- ◆日時 10月27日(土)、28日(日)
- ◆場所 郡山市民文化センター
- ◆応募方法 ①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号、⑤希望人数(最大2名)、⑥観覧希望日を記載のうえ、郵便、FAX、メールまたは公式ホームページの応募フォームより申込。入場無料。応募多数の場合は抽選。
- ◆当日券 2日目のみ空席状況により発行します。
- ◆応募締切 9月28日(金)
- ◆問い合わせ 〒960-8670 福島県文化振興課 TEL 024(521)7154 FAX 024(521)5677 e-mail bunka@pref.fukushima.lg.jp 《HP》福島ふるさとの祭り 検索

史跡の草刈りボランティア

稲月辰也さん(たつみや肉店)と武田功さん(武田紙店)は、町指定天然記念物「義経の腰掛け松」と名勝「弁慶の硯石」の保存と景観をよくするため、草刈りや雑木の伐採を数回にわたって行っています。

いつでもありがたいボランティアです。



弁慶の硯石にて

放射線から子どもたちを守るために 国見小で教育講演会を開催



国見小学校PTA教養委員会主催による教育講演会「放射線に関する質問に答える会」が7月12日、国見小学校体育館で行われました。

国見小学校PTAを対象に日本原子力研究開発機構の職員4人を講師に迎え、事前に保護者から寄せられた質問に対する回答を踏まえながら、放射線から子どもたちを守るために必要な知識を学びました。

参加した保護者からは、「普段通りの生活を送っても問題ないとのことで安心した」などの意見が聞かれ、改めて放射線について考える良い機会となりました。

18チームが熱戦を展開！ 国見ソフトスポ少設立記念大会



今春に町内5つのスポ少が統合し誕生した国見ソフトボールスポーツ少年団の設立を記念する大会が7月8日、上野台運動公園で開かれ、県北地方の18チームが2ブロックに分かれ熱戦を繰り広げました。

開会式では、志村浩雄団長が挨拶し、佐藤力町長と菅野光廣国見小校長の祝辞の後、国見スポ少Aチーム主将の佐藤空大君(国見小6年)が歓迎のことばを述べ、Bチーム主将の村上栄桜さん(国見小6年)が選手宣誓しました。

大会は、あつかしブロックは保原ソフトスポ少、よしつねブロックは飯野ソフトスポ少が優勝を飾り、国見ソフトスポ少は、Aチームが準優勝、Bチームが第3位と活躍し、好成績を収めました。

役場庁舎再建支援を国に要望 大島敦総務副大臣が現状視察に来町



大島副大臣(右から2人目)に要望書を提出する佐藤町長

東日本大震災により損壊した役場庁舎の建設支援を求めるため佐藤力町長が7月3日総務省を訪れ、大島敦総務副大臣に庁舎再建支援の要望書を提出しました。

その後、総務省は7月6日に震災で被災した自治体庁舎の再建支援策を正式発表しました。さらに7月18日には大島総務副大臣が財政措置の説明のため来町されました。副大臣は仮庁舎での執務状況を視察し、震災状況及び庁舎建設について町の説明を受け、本庁舎の現地を視察されました。

また、JA伊達みらい国見営農センターを訪れ国見町の特産品である桃の選果作業を視察し、作業員へ激励のことばを述べ、国見産の桃を省内でPRし、少しでも復興を支援したいと話されました。



役場仮庁舎の状況を視察する大島副大臣



役場庁舎解体現場で八島議長から説明を受ける大島副大臣



桃の選果作業を視察する大島副大臣

緑を守り育てます 国見小緑の少年団結団式



国見小学校緑の少年団結団式が7月9日、国見小学校体育館で開催されました。

式では、佐藤力町緑化推進委員会長から団旗を授与された団長の佐藤淳哉さん(6年)が結団宣言を述べました。

緑の少年団は、子どもたちが身近にある木や花を育てたり、観察したりしながら、森や木の働きを知り、大切に育てる気持ちを育てることを目的としており、学習活動、奉仕活動、レクリエーション活動などを行います。

犯罪や非行の無い明るい社会へ 県北中などで啓発運動



7月の社会を明るくする運動月間中、町内の保護司と更生保護女性会による犯罪や非行の無い社会を呼びかけるための啓発運動が、県北中学校やJR藤田駅、コープマート国見店前で行われました。

県北中学校の啓発活動には、県北中学校生徒会役員の皆さんも協力して行われ、朝の登校時間帯を利用して、生徒一人一人にチラシを配りながら犯罪や非行の無い社会を呼びかけました。

人命救助のために 町体育協会で普通救命救急講習会



国見町体育協会主催による普通救命救急講習会が7月7日、観月台文化センターで開かれました。

伊達地方消防組合中央消防署西分署より救急救命士3人を講師に招き、体育協会加盟の各団体などから24人が参加しました。参加者は、約3時間の講習に真剣な表情で取り組み、心肺蘇生法やAEDの操作法などの実技講習を受けました。今回受講された皆さんには、普通救命講習修了証が授与されました。また、伊達地方消防組合本部の普通救命講習を3回受講された皆さんには、家庭救命士認定証が授与されました。

放射線モニタリングを設置 ライオンズクラブで寄贈



国見ライオンズクラブ(LC)は6月29日、JR藤田駅の駅前広場にソーラー放射線モニタリングシステムを設置し、町に寄贈しました。

このシステムは、LC国際協会332-D地区(福島県支部)が世界から寄せられた寄付金で購入したもので、太陽光を活用し、内臓バッテリーで地上1mの放射線量をデジタルで表示するものです。

贈呈式では、大和田健一国見LC会長が設置を報告し、佐藤力町長が「一目で確認できる貴重な設備。除染も早く進めたい」と感謝の言葉を述べました。

**おまつりワッショイ!
藤田保育所夏まつり**



おみこしで練り歩く子どもたち

藤田保育所では7月19・20日の2日間、毎年恒例の夏祭りが開かれました。子どもたちが「ワッショイ、ワッショイ」とおみこしで練り歩き、おまつりを盛り上げました。子どもたちは遊戯を披露したり、盆踊りはみんなで「アンパンマン音頭」を踊りました。縁日では、魚つり、お化け屋敷、輪投げ、ボーリングなど、みんなで『おまつり』を楽しんだ2日間でした。



輪投げを楽しむ子どもたち



盆踊り(アンパンマン音頭)を踊る子どもたち



魚つりを楽しむ子どもたち



お遊戯を披露する子どもたち

笑顔のひろば

「笑顔のひろば」では、保育所・季節保育所・幼稚園・小学校・中学校の話題を紹介します。

**短冊に願を込めて!
幼稚園・保育所で七夕会**

町内の幼稚園・保育所では7月6日、七夕会を開きました。子どもたちは、自分たちで作った笹飾りに願い事を書いた短冊を結びました。幼稚園では園児が練習した演技を披露したり、保育所では、サークル「エプロン」による人形劇などを見て楽しいひと時を過ごしました。

藤田幼稚園



「ヒーローのたたかい」を披露する園児



AKBのダンスを踊る園児



森江野幼稚園



AKBのダンスを踊る園児



忍者の修業を披露する園児



笹飾りに願い事を書いた短冊を見つめる園児たち

藤田保育所



サークル「エプロン」の人形劇を楽しむ子どもたち



**一振りに力を込めて
藤田保育所スイカ割り**

藤田保育所では7月13日、夏恒例のスイカ割りを行いました。3歳以上は目隠しをしておのチャレンジで、周りの声援を頼りにスイカ目がけて力いっぱい棒を振っていました。やっと割れたスイカは、みんなでおいしくいただきました。



**国見町小学生
交通安全標語コンクール表彰式
入選標語40点の看板を設置**



国見町交通安全協会親和会(佐藤三男会長)主催による国見町小学生交通安全標語コンクール審査会が7月19日、国見小学校体育館で開催されました。コンクールは、国見小学校児童を対象に交通安全標語を募集し、総出品数191点の中から入選した児童40人が表彰されました。入選した作品が書かれた看板も完成し、町内各地に設置され、交通事故防止を呼びかけます。



【入選者(敬称略)】

◇最優秀賞(交通安全親和会長賞)

- 武田 莉紗(1年)
- 鈴木 陽人(2年)
- 石川 秀翔(3年)
- 高田 正登(4年)
- 菊地 海帆(5年)
- 佐藤 雪音(6年)

◇優秀賞

- 加藤 瑞希(1年)
- 後藤 雄真(1年)
- 本田 海斗(1年)
- 高野 美々莉(1年)
- 鈴木 咲千(2年)
- 伊藤 遥風(2年)
- 遠藤 聡(2年)
- 清水 万優子(2年)
- 仲野 美悠(3年)
- 多田 拓人(3年)
- 志村 みなみ(3年)
- 工藤 楓加(3年)
- 鈴木 楊永(4年)
- 鈴木 那南(4年)
- 八島 空斗(4年)
- 安藤 憲治(4年)
- 中野 歩奈(5年)
- 穴戸 寿琳(5年)
- 佐藤 悠貴也(5年)
- 飯塚 翔太郎(5年)
- 齋藤 奈緒(6年)
- 後藤 駿也(6年)
- 村上 菜桜(6年)
- 津田 愛花音(6年)

◇交通安全協会地区部会長推薦
交通安全母の会地区部会長推薦

【小坂地区】

- 佐藤 真実(3年)
- 遠藤 由香(4年)

【藤田地区】

- 小林 明日香(5年)
- 佐々木 舞依(5年)

【森江野地区】

- 斎藤 滯生(1年)
- 角田 怜(5年)

【大木戸地区】

- 佐藤 汰一(3年)
- 松田 咲蘭(6年)

【大枝地区】

- 佐藤 菜子(2年)
- 岩淵 元(4年)

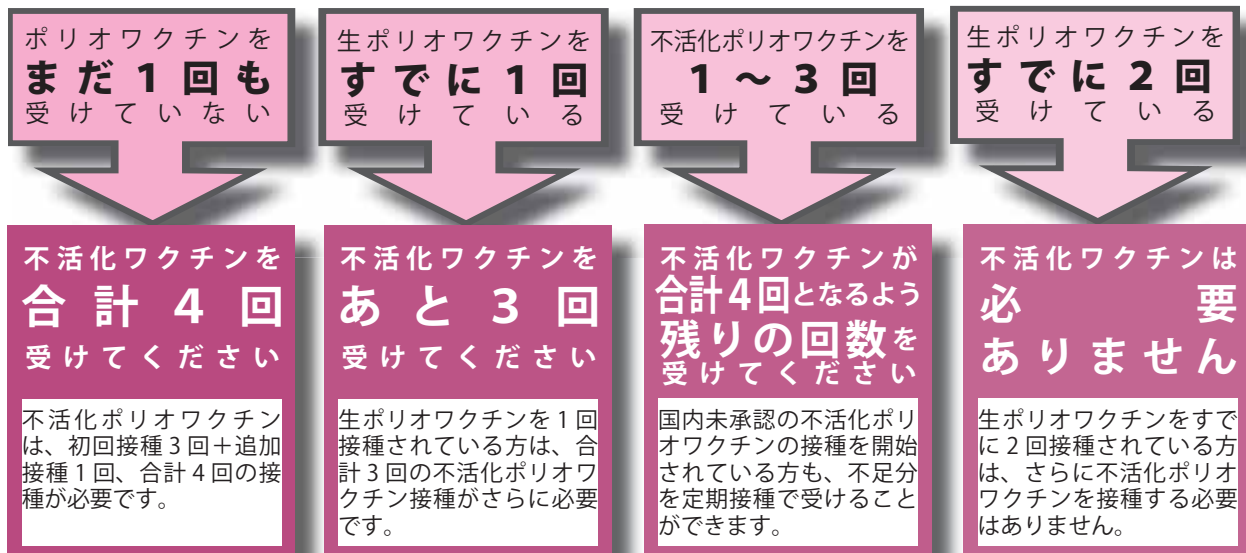
ポリオ予防接種のお知らせ

ポリオ予防接種については春と秋で実施していましたが、9月1日から単独の不活化ポリオワクチンの導入により、実施期間や接種回数等が下記のとおり変更となります。母子健康手帳で接種歴を確認し未接種者の方は接種しましょう。

- 【対象者】** 生後3月から7歳6か月未満の方で生ポリオワクチンを1回受けた方、又は全く受けていない方
- 【接種方法】** 県内の医療機関（主に小児科）で個別接種
生ポリオワクチンは、経口接種（口から飲む）でしたが、不活化ポリオは皮下接種（皮下に注射）となります。
- 【実施期間】** 通年
- 【持参するもの】** 母子健康手帳
※ 予診票は伊達郡内の指定医療機関に備え付け予定です。
福島市の医療機関で接種を希望される方は保健福祉課までご連絡ください。
（予防接種手帳の予診票（単票）はお使いにならないようお願いいたします。）
- 【接種回数と接種間隔】** 4回（初回3回、追加1回）
初回接種として20日以上の間隔をおいて3回、また追加接種として初回接種から12か月から18か月後（最低6か月後）に1回、合計4回の接種が必要です。

どうすればいいの？ポリオワクチン

単独不活化ポリオワクチン導入（平成24年9月1日予定）から、4種混合ワクチン導入までの接種方法



☆使用する不活化ポリオワクチンは、単独の不活化ポリオワクチンです。
☆不活化ポリオワクチンは、初回接種として20日以上の間隔をおいて3回、追加接種として初回接種終了後6か月以上の間隔をおいて1回、合計4回の接種が必要です。
☆追加接種とは、生・不活化を問わず、全体を通して4回目となるポリオワクチンです。
☆3種混合ワクチンは従来通り受けてください。
※平成24年9月1日の導入時点では、4回目の追加接種は定期接種対象外です（現在、国内臨床試験を実施中のため、データが整い次第導入予定）。

※4種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオワクチン）ワクチンについては、平成24年11月頃に導入される予定です。4種混合の導入までの間は、導入を待つことはせず、単独の不活化ポリオワクチンと、3種混合ワクチンを接種していただくようお願いいたします。

◆ポリオワクチンに関する情報 厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/polio/index.html>

いのちを救う 愛の献血にご協力を!!

9月4日（火）、9月23日（日）は国見町の献血の日です。
多くの方のご協力をお願いいたします。

【9月4日（火）】

実施場所	受付時間
国見製菓(株)前	9:00～10:00
(株)東京エンゼル本社 福島工場前	10:45～12:00
生活協同組合コープふくしま コープマーケット国見店前	13:30～17:00

【9月23日（日）】

実施場所	受付時間
上野台運動公園グリーンアリーナ駐車場 (義経まつりのイベント広場内で実施 します)	10:00～15:00 (12:00～13:00は 休憩時間)

*** ニコニコ相談会 ***

対象者	実施日	受付時間	会場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	10月3日（水）	午前10時～ 午前11時30分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】 身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。
《持参するもの》 母子健康手帳、お子さんの飲み物（水筒にいれて）を忘れずに！
《申し込み方法》 前日まで保健福祉課または藤田保育所（☎585-2374）に電話でお申し込みください。

*** 乳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児（平成24年6月生まれ） ・9か月児（平成23年12月生まれ）	10月25日（木）	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】 医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて
9か月児は、歯科衛生士による歯に関するお話も予定しています。
《持参するもの》 母子健康手帳を忘れずに！

健康手帳の交付について

健康手帳は、成人の各種健（検）診結果等を記入し、健康管理のために活用するものです。
交付の対象となるのは、健康増進法に基づき40歳（昭和48年4月1日以前生）以上の方です。
交付を希望される方は保健福祉課 保健係へお問い合わせの上、お越しください。

8月は食品衛生月間です

食品安全のための5つの鍵

- 1 清潔に保つ
- 2 生の食品と加熱済み食品とを分ける
- 3 よく加熱する
- 4 安全な温度（5℃以下、60℃以上）に保つ
- 5 安全な水と原材料を使う

資料提供：福島県北保健所 県北食品衛生協会

くらしの 情報

募 集

放送大学10月生
募集のお知らせ

放送大学では平成24年度第2学期(10月入学)の学生を募集中です。放送大学はテレビやラジオの放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

◆出願期間 8月31日まで
◆問い合わせ 放送大学福島学習センター
☎024-921-7471

お知らせ

(特別)児童扶養手当
をご存知ですか?

児童扶養手当は離婚等により、父又は母親がいない児童(18歳到達後最初の3月31日まで)を養育している母又は父親、あるいは父母に変わり養育している方に支給されます。

特別児童扶養手当は、身体または精神に中度・重度の障がいを持つ児童(20歳未満)を監護している父・母、またはこれに代わって養育している方に支給されます。

(特別)児童扶養手当は請求者本人および同居の家族の方に一定額の所得がある場合は受給できません。詳しくは保健福祉課社会福祉係までお問い合わせください。

受給(対象)者の方には通知してしますので、忘れずに提出してください。

◆問い合わせ
保健福祉課社会福祉係
☎585-2793

全国一斉「高齢者・障害者の人権あらしん相談」強化週間

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、9月10日(月)から9月16日(日)までの7日間、全国一斉「高齢者・障害者の人権あらしん相談」強化週間として、身体的・心理的虐待や差別、いやがらせなど高齢者・障害者の抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談は、人権擁護委員及び法務局職員が応じます。秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

なお、強化週間の期間以外の日(土・日・祝日を除く)においても、午前8時30分から午後5時15分まで、相談に応じていますのでご利用ください。

▼期間 9月10日(月)から16日(日)までの7日間
▼時間 午前8時30分から午後7時まで
(ただし、9月15日(土)、16日(日)は午前10時から午後5時まで)
▼電話番号 0570-003-110
◆問い合わせ
福島地方法務局人権擁護課
☎534-1994

毎月勤労統計調査
特別調査

本年7月31日現在で、常用労働者を1人から4人雇用している事業所を対象に、「毎月勤労統計調査特別調査」を実施します。この調査は、賃金、労働時間及び労働者数の動向を明らかにするための大切な調査です。

調査対象事業所には、8月から9月にかけて統計調査員がお伺いしますので、調査へのご理解とご回答をお願いいたします。

◆問い合わせ 福島県統計調査課 ☎521-7145

個人事業税のお知らせ

個人事業税は、県内に事務所・事業所を設け、物品販売業や不動産貸付業など、法律で定められている事業を行う個人の方に納めていただく県の税金です。課税対象となる方には、県北地方振興局県税部から8月10日頃に納税通知書をお送りし、納期限は第1期分が8月31日まで、第2期分は11月30日まで2回に分けて納めていただくことになっていきますので、納期内の納付をお願いします。ただし、税額が1万円以下の場合、8月31日まで一括して納めていただく

こととなります。

【お勧めします。口座振替制度】

個人事業税については、金融機関の預金口座から自動的に納めることができる口座振替の制度がありますので、是非ご利用ください。(手続用紙は、納税通知書に同封してあります。また、県北地方振興局県税部に用意してあります。)

◆問い合わせ
福島県県北地方振興局県税部
課税第一課 ☎024-523-14698(個人事業税の照会)
納税課 ☎024-523-3594(口座振替制度の照会)

下水道技術者資格試験

平成24年度下水道排水設備工事責任技術者資格試験及び受験講習会を次のとおり開催します。

▼試験日 10月28日(日)
▼試験会場 日本大学工学部(郡山市)
▼受験講習会 10月4日(木) ビックパレット福島(郡山市)
▼申込期間 8月1日(水)～9月7日(金)まで
▼申込先 上下水道課下水道係
◆問い合わせ、申込書・案内書の請求先
上下水道課下水道係
☎585-2984

全国一斉!法務局休日相談所開設

法務局では、登記、戸籍、国籍、供託、人権擁護及び筆界特定などの各業務について、国民の皆さまから気軽に相談いただけるよう休日相談所を開設しました。

▼日時 9月23日(日) 午前10時～午後3時
▼場所 福島駅前「中合デパート」、郡山駅前「ビッグアイ」、いわき駅前「ラトブ」、福島地方法務局相馬支局、白河支局・若松支局
◆問い合わせ
福島地方法務局総務課
☎534-1941

戸籍の窓口

6月21日～7月20日受付分

●結婚おめでとう●

渡邊 歩さん (宮東)
阿部 紗弓さん
中村 智敬さん (貝田)
吉田 紀子さん

●誕生おめでとう●

紺野 ららちゃん (宮町北)
哲朗さん 由美さん
八島 さくらちゃん (宮町南)
章さん 真紀子さん
吉田 凌海ちゃん (宮町南)
幸弘さん 千恵さん
浦井 凛香ちゃん (山崎耕谷)
豪さん 友喜さん
原田 沙季ちゃん (小坂)
朋晃さん 恵さん

●おくやみ申し上げます●

安積 イキさん 84 (泉田中)
松浦 イチさん 87 (石母田原)
吉田 モトさん 90 (泉田中)
浅野いつのさん 99 (泉田中)
安藤 利正さん 57 (藤田光陽)
一條 如子さん 77 (大町北)
齋藤 ノブさん 78 (石母田東)
佐藤 國男さん 74 (宮東)
鈴木佐次郎さん 87 (川内)
本多 道夫さん 88 (徳江北)
佐藤 トミさん 93 (小坂)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

平成24年6月30日現在
人口 10,124人 (△12)
男 4,891人 (△6)
女 5,233人 (△6)
世帯 3,336世帯 (0)
※ 広報くみにみでは住民基本台帳人口を掲載しています。

【心配ごと相談】

・開催日及び相談員
13日(木) 菊地 忠良さん
佐久間フミさん
27日(木) 菊地千津子さん
阿部 孝子さん
・場所 観月台文化センター 第2和室
・時間 午前9時～正午

9月の相談会

【障がい者相談】

・開催日 18日(火)
・場所 観月台文化センター 保健指導室
・時間 午前10時～午後4時
・相談事業受託者 特定非営利法人福島・伊達 精神障害者福祉会「ひびきの会」

農業委員会 総会の日程

農業委員会の総会では、農地の貸借や売買、転用、農業行政への建議等を審議します。総会は公開です。傍聴を希望される方は、開会時間までにおいでください。

・日時 8月20日(月) 午後1時30分
・日時 9月20日(木) 午後1時30分
・場所 観月台文化センター 大研修室
◆問い合わせ 農業委員会事務局 ☎585-2890

今月の

納税

町県民税(第2期)
国民健康保険税(第2期)
後期高齢者医療保険料(第1期)
介護保険料(第2期)
納期限は…
8月31日(金)です。

生涯学習 とうしん



国見町教育委員会生涯学習課
 (観月台文化センター)
 ☎(585)2676 FAX(585)2707
 E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp
 http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

行事のお知らせ

- << 8月 >>
- 7日(火) 夏休み親子クッキング教室
- 8日(水) 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会 (上野台運動公園)
- 9日(木) 国見っ子わんぱく広場「夏休み特別活動」(~10日)
- 11日(土) デジタルカメラ教室⑤
子ども将棋教室③
- 19日(日) 家庭の日
- 21日(火) 少年仲間づくり教室「お金の不思議」(日銀福島支店)
県民の日 (施設無料開放)
- 22日(水) 夏休み元気って体験教室(レジーナの森)(~23日)
- 24日(金) 成人学級「文学散歩」
- 25日(土) デジタルカメラ教室⑥
- 26日(日) 国見町・桑折町青少年健全育成剣道大会
- 31日(木) ブックスタート
- << 9月 >>
- 1日(土) 陶芸教室①
- 2日(日) 伊達地方スポーツ大会
- 3日(月) 休館日
- 4日(火) 阿津賀志学級「はつらつ運動」
- 8日(土) 市町村対抗軟式野球大会開会式(あつま球場)
子ども将棋教室④
陶芸教室②
- 9日(日) 三県交流国見町少年柔道大会(柏葉体育館)
少年仲間づくり教室「陶芸体験」
- 11日(火) 子ども移動図書館(国見小3年生)
- 12日(水) くにみ女性教室「短歌教室」

迫力ある恐竜展・美しい大自然に感動 自然体験キャンプ



トレッキング集合写真

少年仲間づくり教室では、7月24日から3日間、休暇村裏磐梯キャンプ場(北塩原村)で教室生と仲間づくりリーダー33名が参加してキャンプを行いました。

福島県立博物館での体験学習(化石に触ろう)やキャンプ場での星空とホテルを観察したナイトハイキング、裏磐梯の自然を五感で体感したトレッキングなどの体験活動を行いました。

また、飯ごう炊飯やバーベキューなど屋外での食事を楽しみ、2日目の夜には、キャンドルファイヤーを行い、各班の出し物で盛り上



恐竜時代のふくしま展見学の様子

がりました。教室生は、自然の中で、仲間と寝食を共にし、夏休みの楽しい思い出をつくりました。

町政を知る

7月10日、阿津賀志学級では、「町長講話」を開催しました。学級生62名が参加し、佐藤力町長より「町政について」をテーマに講話をいただきました。

講話では、町長に就任してからの小学校統合や藤田総合病院の経営について、当時の課題解決に力を注いだ話をお聞きしました。

そして、現在は①被災した役場庁舎の改築②県北浄化センターの汚泥処理③除染対策(校庭周辺)④米の全袋検査等の大きな課題に取り組んでいること。さら



佐藤町長の講演を聞く阿津賀志学級の皆さん

「水神」「やまんば」をテーマに学ぶ

7月14日、21日の2回にわたり、町民講座「日本昔ばなしへの入口」を福島子どもの本を広める会顧問である内池和子さんを講師に招き開催しました。

第一回は、昔話とは古来から人々が目に見えぬ神々を信仰し、神に捧げるものであったこと。「水神」については、農耕民族である日本人にとって、水はなくてはならないものであったことを学びました。

第二回は、水神の奉仕者



内池氏による昔話講演の様子

として捧げられた巫女(みこと)の話から発展し、昔話として伝えられている「やまんば」について学びました。

奥深い昔話について、参加者は新たな見聞を広めながら、楽しく学習しました。

町民プールがはじまりました!



開放は8月26日(日)まで。水泳帽子を忘れずに!

今年度に限り国見小学校の児童は無料です。ご家族そろって是非ご利用ください。

中高年のための登山教室

山歩きの正しい知識を学んで、安全で楽しい登山を目指しましょう!

第1回【講義】地図の読み方・コンパスの使い方
 9月18日(火) 9:00~11:30
 観月台文化センター 第1会議室

第2回【実技】日帰り登山を楽しむ
 10月3日(水) 長井葉山(予定)

- ◆対象 町内在住または在勤の45歳以上の方
- ◆定員 25名(先着順)
- ◆講師 日本山岳ガイド協会認定ガイド 奥田博氏
- ◆参加料 お一人様3,000円(全2回分)
※講義のみの参加は不可
別途集金の場合あり
- ◆申込み 8月21日(火)午前9時~
参加料を添えて公民館窓口へ
※お一人様2名分までお申込できます。
- ◆問い合わせ 生涯学習課 ☎585-2676

参加者募集!!

平成24年度町民講座 初心者向け 陶芸教室

- ◆開催日 9月1日、9月8日、9月29日、10月6日(全4回 土曜日)
- ◆時間 午前9時30分~11時30分(2時間)
- ◆場所 忘山庵(ぼうざんあん)
国見町大字徳江字前原地内
- ◆講師 氏家博昭氏
- ◆内容 手びねり、タタラ作り、釉掛け等
作品製作(3点)
- ◆対象・定員 町内在住および在勤者15名
(定員になり次第締め切り)
- ◆参加費 1,800円(粘土ほか材料代)
- ◆その他 参加者は現地集合、もしくは観月台文化センターから送迎車を用意しますので申込みの際お知らせください。
- ◆申込み 8月20日(月)まで下記にお申し込みください。
- ◆問い合わせ 生涯学習課 ☎585-2676

ソフトテニス競技で優勝!



白熱したソフトテニス大会

7月8日と15日、県総体県民スポーツ大会の県北地域大会が、伊達地方各市町で6種目開催され、町体育協会から予選会を勝ち抜いた精鋭4団体47人が出場しました。

上野台運動公園テニスコートではソフトテニス競技大会が行われ、国見STチームは息のあったプレーで他チームを圧倒し、4年ぶりの優勝を果たしました。

当町出場チームと成績は次のとおりです。

▽壮年ソフトボール：朝日クラブ、▽ソフトテニス：国見ST【優勝】、▽家庭バレーボール：スピリッツ、▽硬式テニス：国見テニス部【第3位】



まちのサークル

VOL11

3つの『B』で健康づくり

はぴはぴげんきっこ3B

プロフィール

- ・代表者 村田 弥生
- ・問い合わせ 小林由香里 ☎529-2450

サークル名	はぴはぴげんきっこ3B (ジュニア)	はぴはぴはぴげんきっこ3B (親子)
活動日	月2回 第1、第3土曜日 10:00~11:00 (学校行事等で変更あり)	月2回 第2、第4金曜日 10:00~11:00
主な活動場所	小坂農村総合管理センター	観月台文化センター第3研修室
会員数	子ども20名	母親12名
会費	1,500円/月	1,500円/月

先月号でも紹介した「3B体操」はボール、ベル、ベルターの3つの手具を使用し、音楽に合わせて楽しくリズムカルに体を動かす健康体操です。

はぴはぴげんきっこ3Bの代表を務める村田弥生さんは、サークル結成のきっかけを「平成20年2月に町公民館の体験教室がきっかけでサークルを発足し、それが現在に至っています」と話してくれました。

ジュニアの部は、幼稚園

から小学5年生までが所属しています。指導者の沼田久美子先生、岩城多香子先生の下、アニメや最近のポップスの曲を「ボール」「ベル」「ベルター」を使って楽しく踊っています。

親子の部は、入園前の子どもたちが所属し、岩城多賀子先生の指導の下、親子で元気に活動しています。町のイベントなどでも踊りを披露し、たくさん拍手をいただきました。

7月28日(土)には、東北大会に参加し、いきものがかりの「じよいふる」を踊ってきました。会員の皆さんは「全国から集まった仲間と踊るのは緊張しましたが、みんなで一体となり、楽しく参加してきました。今後イベントなどでみてくださった皆さんに楽しんでいただけるように頑張っていきたいです」と話してくれました。

はぴはぴげんきっこ3Bでは「まずは見学からお気軽に！待ってま〜す！」と一緒に楽しく参加してくれる仲間を募集中です。皆さん、ぜひ一度見学してみてくださいか。



▶中尊寺ハスの花
(12面に関連記事)

小さな天才たち

県北中学校

「若木」 工藤 未鈴(1年)

一年 工藤未鈴

若木

「若木」 齋藤 遥菜(1年)

一年 齋藤遥菜

若木

「若木」 安藤 祥都(1年)

一年 安藤祥都

若木

「若木」 小林 恵(1年)

一年 小林恵

若木

「若木」 山崎 日菜(1年)

一年 山崎日菜

若木

「若木」 武田 佳音(1年)

一年 武田佳音

若木

あとかぎ

8日に開幕する夏の甲子園大会。今年はどうなるか楽しみが待っているのか楽しみですね。そんな中、9月8日に開幕する第6回市町村対抗軟式野球大会に出場する国見町チームを取材しました。代表のユニフォームを着た選手達からは、町の代表としての誇りが感じられました。「駆けあがれ！夏のテッペン」今夏の高校野球のキャッチフレーズのように、頂点目指して頑張ってくださいね。(K.N)